

防犯隊の活動 広く知ってほしい



小浜市防犯隊
第13支隊 支隊長
きょうたに ひろこ
京谷 宏子 さん
(60歳・雲浜二丁目)

隊員は、年齢も地区もバラバラな女性のみで構成されており、現在は10人で活動しています。私が加入してから、本年度で4年目を迎え、2年前からは支隊長に任命されています。

知人に誘われ、楽しそうな活動だなと、軽い気持ちで加入したのがきっかけです。

入隊したときには、隊員のほとんどが新人で、どのような活動をすればよいのか、手の状態だったことを覚えていません。そのような中、広報活動に経験がある隊員の助力もあり、3年前からは、

防犯思想の普及啓発とともに防犯隊のPR活動にも取り組んでいます。

60年にわたって防犯活動を続けている防犯隊ですが、活動をはじめから、その知名度の低さに驚きました。その一方で、隊長や副隊長をはじめ、各支隊長と話をすると、皆さんが一緒に市民や防犯隊に対する熱い思いを語ってくれたことが印象的でした。

今回の特集で活動のすべてを紹介することはできませんが、少しでも小浜市防犯隊について知ってほしいと思います。



問い合わせ 生活安全課 ☎64・6007



第13支隊の活動レポートをお届けします



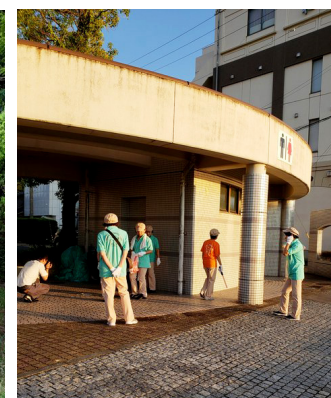
皆 さん、本市には「小浜市防犯隊」という防犯組織があることを知っていますか。

小浜市防犯隊は、犯罪の増加、青少年非行の増加を背景に、防犯思想の普及と犯罪予防活動の中核組織として、昭和30年6月に発足。当時の隊員は消防団員の中から選出され、隊などの編成も消防団と同じくして運営されてきました。

しかし、平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災を契機に、防犯隊と消防団との兼務体制の見直しと近隣町村防犯隊との応援協定による広域体制の確保が図られ、9年には消防団と分離して独立しました。

独立当初は、隊長・副隊長の下に10の分隊で組織されていましたが、11年4月に現在の行政区ごとに12の分隊に分かれ、12年4月に分隊の名称が支隊に変更。16年4月には、新たに女性だけで組織された支隊が発足しました。

現在は、隊長・副隊長の下に、地区ごとに12の支隊と女性のみで構成された支隊、合わせて13の支隊で活動しています。



上段左：防犯だけでなく防災にも役立つ「防犯防災体験学習」を実施／上段右：女性のための女性による「護身術講座」で小浜警察署の女性警察官らが参加者を指導

中段左・中：防犯意識の高揚を目的に宮川ふるさとまつりや暮らしの講演会で「防犯パトロールの歌」を踊り付きで披露／中段右：青色回転灯を装着した車両で夜間パトロールを実施

下段左・右：夏期特別パトロールとして市内の公共女子トイレの一斉防犯検査を実施

わたしたちが、小浜市防犯隊第13支隊！



小浜市防犯隊の第13支隊って？

小浜市防犯隊第13支隊は女性だけで構成された部隊です。

平成15年度まで、防犯隊には女性隊員が在籍していませんでした。当時、市では男女共同参画の実現に向けた取り組みを推し進めており、防犯隊においても、女性の活躍を求める声が上がったことから、16年度に女性支隊が発足しました。

今回の特集では、第13支隊と防犯隊の活動について紹介していきます。

小浜市防犯隊はどんな活動をしているの？

小浜市防犯隊は、治安を確保し、市民生活の安定を図ることを目的に、防犯思想の普及徹底と犯罪予防などの活動をしています。

任務内容は、警察の行う防犯の普及指導や青少年の非行防止、犯罪抑止活動に協力すること、となっており、任務の遂行には、小浜警察署と密接な連携を図り、市内の諸状況に応じて行っています。

通常の活動は、青色回転灯装着車両でのパトロールや犯罪予防のための広報啓発活動を行っています。

その他にも、年に2回、出動式を実施して隊員の士気を高めるとともに、県や若狭地区で開催する式典を通して、他市町の防犯隊との連携を図っています。

『安全・安心に暮らせるまち』を目指して活動しています



若狭地区4市町の防犯隊員が集う若狭地区防犯隊連合会錬成会を開催。研修や訓練を実施し、心身・技術の鍛錬を重ねる



支隊ごとに分かれて、青色回転灯を装着した車両でパトロール活動を実施。写真は訓練時の様子



子どもや女性を犯罪から守る活動の一環として、市内量販店で啓発チラシを配布



毎年2回、春季と年末に出動式を開催。防犯隊員を一堂に集めて実施することで、隊員の士気を高め、さらなる犯罪の予防を目指す



小浜市防犯隊年末警戒出動

ワンポイント

防犯アドバイス (📢)

一人暮らしの場合

- ▼訪問者の対応は、ドアを開けずに、インターフォンやドアチェーン越しに行う
- ▼女性の場合、窓際は一目で女性の一人暮らしと分かるようなカーテンや飾りにしない
- ▼夜間、就寝する際には、2階以上でも、窓を閉めて鍵をかける
- ▼個人情報漏れないように、郵便物はシュレッダーにかけてから、ごみに出す

外出する場合

- ▼周囲から見えにくい場所や通路は通らない
- ▼歩きながらの携帯電話・スマートフォンの使用は避ける
- ▼深夜のコンビニは目をつけられやすいので、帰り道は細心の注意を払う

自分だけは大丈夫という思い込みは捨てて、自分を守るテクニックを身に付けましょう

隊長



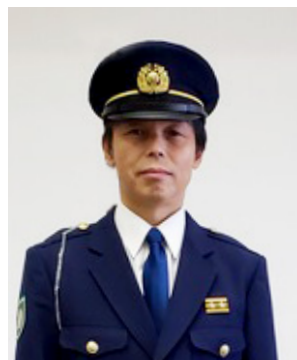
森田 稔 さん
(59歳・甲ヶ崎)

次は副隊長の2人



- Q. 入隊何年目ですか？**
A. 入隊して9年になりますが、隊長としては1年目です
- Q. 入隊のきっかけは？**
A. 各地区から一人が就任することになっており、隊員から誘われたからです
- Q. 印象的だったことは？**
A. 3年前に行方不明者の捜索活動が年間で5件と、非常に多かったことです
- Q. 今後の抱負は？**
A. 各支隊と隊長・副隊長がしっかりとコミュニケーションを取りながら、若い隊員たちとともに活気ある活動をしていきたいです
- Q. 活動を通して感じたことは？**
A. 地区の決まりとして、誘われて入隊しましたが、いろいろな人とのつながりがあり、特に市民の防犯に対して真剣に取り組んでいる人との出会いがあったことで、隊員として何ができるかを考えるようになりました
- Q. 隊長として心掛けることは？**
A. 強制的な言動を慎み、模範的な行動を示すことです

副隊長



内藤 仁等志 さん
(54歳・住吉)

- Q. 入隊何年目ですか？**
A. 入隊12年目で、副隊長としては2年目です
- Q. 入隊のきっかけは？**
A. 小学校のPTA活動の一環で、勧誘されました
- Q. 隊への思いは？**
A. 市民がより良い生活ができるよう、防犯隊が犯罪の抑止力になればいいと思っています
- Q. 活動してきて良かったことは？**
A. 行方不明者の捜索活動を行ったときに、無事に発見して、解決できたことです
- Q. 今後の抱負は？**
A. 隊員とのコミュニケーションを重視し、市民が少しでも安全に暮らしていけるよう頑張っていきたいです

副隊長



岡 登志郎 さん
(52歳・上田)

- Q. 入隊何年目ですか？**
A. 入隊10年目で、副隊長としては1年目です
- Q. 入隊のきっかけは？**
A. 地区で決めた順番で持ち回りです
- Q. 隊への思いは？**
A. 市民ができる市民による防犯活動であり、防犯意識の高揚のために大事な仕事です
- Q. 活動してきて良かったことは？**
A. 平成25年の台風18号のとき、2日間で約400㍓の雨が降り続き、消防団員だけでは人手が足りない中で、防犯隊員が一丸となり防災活動に協力できたことがうれしかったです
- Q. 今後の抱負は？**
A. 防犯隊は大事な仲間なので、良質な人間関係を築いていきたいです